

科目名	CSU I B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岡田弘子
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼ー1年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (1)	
教員の略歴	2007年度よりCSU講師 日本カウンセリング学会カウンセリング心理士 心療内科非常勤カウンセラー					
授業の学習 内容	1. 社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2. 授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。					
到達目標	1. 基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2. 自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3. チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。					
評価方法と基準	1)出席回数 50% 2)ワークへの取り組み姿勢 20%(不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点) 3)振り返り試験(後期最終日に実施) 30%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月30日	講義 集団演習	＜自己紹介ワーク＞クラス仲間と交流する。 「10の基本スキル」をチェックする。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2	5月14日	講義 集団演習	＜クラスの理解＞仲間のことを知る。 グループ会話を体験する。CSUアンケート	
3	5月28日	集団演習	＜名画鑑賞＞協同作業を体験する。 作品のタイトルとイメージを発表する。	
4	6月18日	講義 個人演習	＜エゴグラム＞心の構造とその特徴を知る。 自分の良いところを見つける。	日常の自分の行動を振り返る。
5	7月2日	集団演習	＜なぞの宝島＞情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
6	7月16日	講義 集団演習	＜アサーション＞適切な自己主張を理解する。 上手な頼み方・断り方を学ぶ。CSUアンケート	自己表現と他者への関わりを振り返る。
7	8月27日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義①＞教科書学習。 「基本的対話スキル」を学ぶ。	教科書P8～P40を予習・復習する。
8	10月1日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義②＞教科書学習。 仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。	教科書P41～P92を予習・復習する。
9	10月22日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義③＞教科書学習。 就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。	教科書P93～P124を予習・復習する。
10	11月5日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義④＞教科書学習。 顧客への「サービスマインド」を学ぶ。	教科書P125～P157を予習・復習する。
11	11月19日	集団演習	＜砂漠で遭難！＞コンセンサス(意見の一致・全員の合致)のとり方を体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
12	12月3日	集団演習 講義	＜バスは待ってくれない＞協同作業を通して、集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。	
13	12月17日	集団演習	＜おもしろ村＞情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを振り返り発表する。	
14	1月14日	個人演習	CSUの振り返り～記述試験 CSUアンケート	CSUで経験したことを思い出す。
15	調整中	試験	CSU検定試験	
準備学習 時間外学習			様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐賀 永康
学科・コース		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼ー1年A						
教員の略歴							
授業の学習 内容	驚異的な進化を遂げたAIの台頭によりデジタルツールを駆使できるようになったとしても新しい表現を身につけたとは言いきれない時代となった。本講義を今後のビジュアル文化を席卷するために「必要となる学び」とは何か問い直す機会とする。 鉛筆と消しゴムを用いた伝統的なアナログ表現をの基本としながら、「自分で考え自分で解決する」ことを重視し、絵を描くことを通して、自立した人材を育成することを目的としている。						
到達目標	デッサンは3年間通して履修するため一年間での習得完了は考えていない。 1学年前期では実習、講義を軸に展開しながら、常に復習を繰り返し 『自らの現在地を見極め、成長のために半歩踏み出す』ことを目標とする。						
評価方法と基準	以下2点を評価の基準とし総合的に評価する。 ①制作物の提出 ②授業の取組姿勢及び理解度						

回数	日程	授業形態	学習内容	学習の準備・心構え
1	4月20日	講義・実習	オリエンテーション/描画実習①	鉛筆デッサン用具一式
2	4月27日	実習	描画実習①続き	鉛筆デッサン用具一式
3	5月11日	実習	模写①	描画材料へ関心を高める
4	5月18日	実習	模写①	描くこと自体を楽しめるようにする。
5	5月25日	講義・実習	講評	諦めずに描ききる姿勢を持つ
6	6月1日	講義・実習	風景考察①	視野の拡張
7	6月8日	実習	人物表現①	人体への興味を持つ
8	6月22日	実習	人物表現①	自身の制作の糧となるよう取り組む
9	6月29日	実習	風景考察②	学んだ内容を自宅でも実践してみる。
10	7月6日	実習	ドローイング	修練を習慣化する
11	7月13日	講義・実習	デッサン①	自作について客観性を持って評価する
12	8月24日	講義・実習	デッサン①	他者との比較によって自作を評価する
13	8月31日	実習	講評	他者から評価されるまで制作を進める
14	9月7日	実習	デッサン②	視野を拡張させる
15	9月14日	講義・実習	評価週	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】毎時限デッサン用具一式持参・教材、参考資料は随時配付 ※授業の進行にあわせ内容が変更する場合があります。				

授業名(時間割表記)	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2年	担当教員	鈴木 弥栄子
学科・コース	スーパークリエイター科昼ー2年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了。画家。						
授業の学習 内容	絵を描くことの基本は観察すること！デッサンで対象の観察・描写・修正という一連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術・質感描写・陰影描写・画面構成力を獲得する。また、クロッキーで人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を鍛える。						
到達目標	イラストを描くのに必要な、基礎的な観察力・描写力を身につけることを目標とする。 1年を通じて各々の描画のクオリティの上げ方を模索し、ポートフォリオに入れられるレベルを目指す。 部分の完璧さを求めるのではなく、時間内で全体をベストな状態まで持っていくバランスコントロール力や客観性を身につける。						
評価方法と基準	以下を評価の基準とし、総合的に判断する。 作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度、授業態度						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/22	講義・実技	ガイダンス／画材説明／逆さまデッサン1	1日15分のクロッキー(週5枚)
2	5/13	実技	逆さまデッサン2	1日15分のクロッキー(週5枚)
3	5/20	講義・実技	全体講評／慣らしクロッキー(持ち回り)	1日15分のクロッキー(週5枚)
4	5/27	実技	女性モデルクロッキー(ヌード)	自画像のラフを考えてくる
5	6/3	実技	自画像デッサン1	1日15分のクロッキー(週5枚)
6	6/17	実技	自画像デッサン2	1日15分のクロッキー(週5枚)
7	6/24	実技	自画像デッサン3	自画像デッサンを完成させる
8	7/1	講義・実技	講評／手と足のクロッキー	復習(手と足のクロッキー)
9	7/8	実技	デッサン(靴)1	1日15分のクロッキー(週5枚)
10	7/15	実技	デッサン(靴)2	1日15分のクロッキー(週5枚)
11	7/22	実技	デッサン(靴)3	1日15分のクロッキー(週5枚)、夏休み課題
12	8/26	講義・実技	講評／透明化・単純化クロッキー	復習(透明化・単純化クロッキー)、夏休み課題
13	9/2	実技	男性モデルクロッキー(水着)	1日15分のクロッキー(週5枚)
14	9/9	講義・実技	石膏デッサンあたりどり	1日15分のクロッキー(週5枚)
15	9/16	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			主に自主的なクロッキー口	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜プリントを配布				
【持参する画材】デッサン道具一式(鉛筆セット・練りゴム・消しゴム・カッター・クロッキー帳)、講評用メモ帳				

授業名（時間割表記）	デッサンⅢA	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	城 哲也
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼ー3年A	授業 形態	実習	総時間 （単位）	60 2		
教員の略歴	イラストレーション、キャラクターデザイン						
授業の学習 内容	デッサンをする意義を理解し、デッサンをすることでデッサン力を身につけるための授業です。デッサン力とはクリエイティブ活動において、クオリティーを下支えする基本的な技術です。この授業では鉛筆による実写表現の勉強をしています。それにより観察することの大切さ、いろいろなものの見方が洞察力に繋がるとともに表現技術の向上を目指します。コミックイラストにおいても独自の表現を魅力的にすることに役立ち、表現の幅を広げてくれます。						
到達目標	●作品制作において、クオリティーを高めるための客観的な視点や判断能力と表現技術を獲得する。 ●多様なテーマに対する対応能力を獲得する。						
評価方法と基準	課題提出数・課題 評価点数						

授業計画・ 内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/25	実習と 講義	静物デッサンと 講義と 個人面接	身の回り のものをデッサン
2	5/2	実習と 講義	上記の続きと 全体講評会	身の回り のものをデッサン
3	5/9	実習と 講義	1日デッサンと 全体講評会	自分の手をデッサン
4	5/23	実習	選択デッサン(石膏、静物)	クロッキー
5	5/30	実習と 講義	上記の続きと 全体講評会	クロッキー
6	6/6	実習と 講義	クロッキーと 全体好評	人物写真をスケッチ
7	6/20	実習	選択デッサン(石膏、静物)	身の回り のものをデッサン
8	6/27	実習と 講義	上記の続きと 全体講評会	身の回り のものをデッサン
9	7/4	実習	女性モデル(コスチューム)	自画像
10	7/11	実習と 講義	クロッキーと 全体好評	クロッキー
11	7/18	実習と 講義	選択デッサン(石膏、静物)	クロッキー
12	7/25	実習と 講義	上記の続きと 全体講評	街中をスケッチ
13	8/29	実習と 講義	1日デッサンと 全体講評会	クロッキー
14	9/5	実習と 講義	クロッキーと 全体好評	身の回り のものをデッサン
15	9/12	試験	評価週	
準備学習 時間外学習			自主的提示課題デッサン	
【 使用教科書・ 教材・ 参考書】				

授業名(時間割 表記)	ビジネスツール I A	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼ー3年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習 内容	現代社会ではどのような職種に就いたとしてもオフィスアプリケーションの使用は必須。 そのため、オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Powerpointについて基本的な操作と機能について理解・習熟する。						
到達目標	・Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Powerpointの基本操作の習熟 ・応用的な機能の練習を通じて、単純なビジネス文書作成だけではない使い方があることを理解する						
評価方法と基準	授業ごとの練習制作物の提出:60% 評価点(課題評価):40%(授業で説明した機能を正しく使えているか、提出物を評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/20	講義	自己紹介、授業内容の説明、PCの基本的な理解	
2	4/27	実習	word: 基本的な入力・編集・操作	復習を行うこと
3	5/11	実習	word: 書式設定	復習を行うこと
4	5/18	実習	word: 文書の整形	復習を行うこと
5	5/25	実習	word: 図形、画像の利用	復習を行うこと
6	6/1	実習	word: 表組みの作り方	復習を行うこと
7	6/22	実習	word: ビジネス文書作成	復習を行うこと
8	6/29	実習	word: 差し込み印刷	復習を行うこと
9	7/6	実習	word: 拡張機能	復習を行うこと
10	7/13	実習	word: 文書作成総合	復習を行うこと
11	7/21	実習	Powerpoint: 基本的な入力・編集・操作。	復習を行うこと
12	8/24	実習	Powerpoint: 図形、画像、表組みの利用	復習を行うこと
13	8/31	実習	Powerpoint: 良いスライドを作るには	復習を行うこと
14	9/7	実習	Powerpoint: スマートアート	すべての課題を提出すること
15	9/14	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				